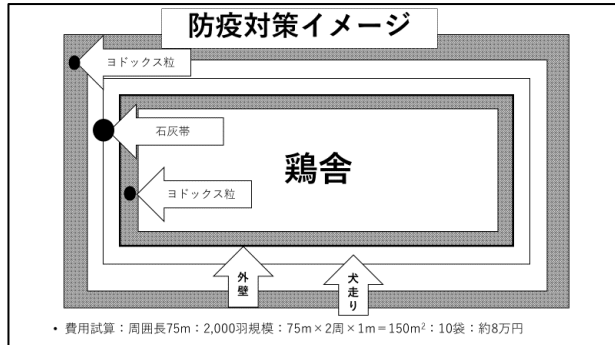


肉用鶏生産者に向け講演を実施

12月9日に「飼養衛生管理に係る技術検討会」が家畜畜産物衛生指導協会の主催で開催され、肉用鶏生産者を中心に飼料会社、府関係者等が集まりました。

本検討会において、当センターは「病原体侵入防止のための畜舎周囲消毒方法の省力化技術の開発」と「秋てん茶製造副産物の飼料利用の可能性（中間報告）～京地どり～」の2題の試験研究課題について報告しました。参加者から新たな消毒方法の今後の方向性や秋てん茶の加工方法等多くの質問があり、活発な意見交換を行いました。今後も本課題に限らず、当センターの試験研究成果を周知し、普及に努めます。



散布済みの消石灰の内外に開発資材(ヨドックス粒)を散布し、バイオセキュリティレベルの向上を目指す



秋てん茶を粉碎することで鶏への給与が可能となる